

# 平成29年度 事業報告書

社会福祉法人 やまなみ会

(施設名)ゆほびかデイサービスセンター

## 目 次

I	はじめに	..... 1
II	1. 基本事業	
	2. 目的、基本方針	..... 1
III	全体状況報告	..... 1～3
	1. 目標に対する報告及び考察	
	2. 職員状況	
	3. 利用者状況	
	4. レクリエーション	
	5. 入浴支援	
	6. 機能訓練	
	7. 健康管理	
	8. 送迎及び家族との交流	
	9. 年間行事	
IV	次年度提起	..... 3

## I はじめに

当事業所はサービス付き高齢者向け住宅ゆほびか水前寺と同一敷地内にありゆほびかデイサービスセンターの利用者の大半はゆほびか水前寺の入居者である。ゆほびか水前寺の入居者との関わりを主に持ち、サービス付き高齢者向け住宅と連携を密にし、デイサービスの発展に取り組んできた。

平成30年1月1日より社会福祉法人やまなみ会へ法人の移行することになり、当該報告は平成30年1月1日からの報告である。

## II 1 基本事業

送迎、入浴、食事サービス、生活指導、日常動作訓練、口腔機能向上訓練  
相談・助言に関する事

### 2 目的・基本方針

在宅で要支援、要介護状態となった対象者にデイサービス各種のサービス（送迎、入浴、食事、健康チェック、レクリエーション、機能訓練、）を行い、在宅での閉じこもり防止、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上に努めた。

通所個別援助計画に基づきご利用者に1日過ごしていただくようよう努め評価を行い、状態にあわせて変更、持続を行った。計画持続のご利用者がほとんどだったが、一時入院や認知症進行者のご利用者等は状態の変化もありそれぞれに応じて再検討することができた。

## III 全体状況報告

### 1 目標に対する報告

上記目的に基づき、各ご利用者の状態の変化に視点を置き在宅での閉じこもりや認知症進行のご利用者にはデイサービスの利用回数を増やし脳トレやレクリエーション等のサービスを通じ解消するなど、それぞれに合った支援に取り組むことができた。ご利用者の観察を行い、心身機能の維持向上が出来るよう取り組む。

### 2 職員状況

外部で行われる研修においては、当日の業務に支障のない範囲で職員一人ずつ研修に参加することが出来たが、研修内容を現場に持ち帰りしっかりと適応することができていない。次年度の外部研修では研修で得たものをしっかりと事業所で活かされるよう取り組んでいく。

### 3 利用者の状況

平成29年度は感染症情報の把握に努めるとともに、出退勤時に手洗いやマスクの着用、デイサービス内に「除菌ダ！」（次亜塩素酸水）の散水を徹底し感染症予防の三原則（感染源の除去、抵抗力を高める、感染経路の遮断）に努めた。

インフルエンザに関してはデイサービスや併設のサービス付き高齢者向け住宅においてもご利用者、職員ともに感染者0名と感染症対策がしっかりと行えた。

サービス内容の向上を目的として、毎月の職員ミーティングにおいて「今月のご利用者の声」を重点項目に設定し、当月の利用者の要望や相談、苦情等を検討、改善する機会を設けた。後のご利用者へのヒアリングにより、ご利用者の満足度も少しずつ上昇している傾向にある。ご利用者の要望等に費用が発生するなどの事例には時間がかかってしまうか、できない事もあるが、できることから改善できるよう取り組み、今後もより良いサービスを行えるよう取り組む。

### 4 レクリエーション

作業療法の目的も含めると共に、ご利用者のレベルに合わせた個別レクリエーション（塗り絵、カレンダー作り、創作活動）集団レクリエーション（サッカー、玉入れ、ゴルフ、風船バレー等）を行ってきた。日常あまり交流のない方々もレクリエーションを通じて他者との関わりを持つことが出来た。書道のボランティアの先生や絵手紙の先生に月に2回来ていただき、季節に応じた熟語等をご利用者と共に作り施設通路やデイルームに飾ることで、ご利用者の楽しみや励みになった。

レクの内容にマンネリが発生していたこともあり、次年度では季節感のあるレクや陶芸等の新しいことにも挑戦し、ご利用者が楽しみを持って作業を行うことにより残存機能の保持が出来るよう努めていく。

### 5 入浴支援

平成29年度では、ご利用者やご家族から「流れ作業のような入浴で、ゆっくり入浴を楽しめない」等の声があった。現在においては入浴職員にサブパートナーを配置し改善を図っているが、その分デフロアの見守り配置が手薄になりがちな状況があった。次年度では入浴ピーク時間にシフトの工夫を図り以上のような事例が発生しないよう質の高い入浴支援を行っていく。

### 6 機能訓練

機能訓練指導員（看護職員）による基本体操、集団体操、タオルを使った体操、自力体操、パワーリハビリ、個別機能訓練等を行い生活・身体機能の向上が出来るように努めた。個別機能訓練を目的にデイサービスを利用するご利用者も多く、

様々な訓練に参加していただくことで、身体の残存機能の維持向上及び精神機能の安定に努めることができた。理学療法やホットパックを使った温熱療法・マッサージ療法（ウォーターベットマッサージ機、トマー）は高ニーズであり、ウォーターマッサージの待ち時間には簡易マッサージ器を利用して頂きこれも好評であった。

## 7 健康管理

健康チェック、利用時の状態観察を行い、病状等の変化がないか観察を行い急変前に早期発見に努めた。

## 8 送迎及び家族との交流

送迎時、対物の接触事故発生。早急に責任者が現地に向かい先方に謝罪を行う。今回先方の怪我や対象物に損傷等は無く、迅速な対応はできたが安全な運転が出来ていなかったとし、次年度は無事故を目標に取り組む。

## 9 年間行事

日本の風習行事、季節を感じる行事企画、実施する。今後も続けて若い頃の記憶の呼び起こしに繋げていきたい。

誕生日会は実施しておらず、次年度より個別に誕生日会を毎月行いご利用者に喜んでいただけるよう努める。

### 年間行事

1月	初詣
2月	節分
3月	花見

### 平成29年度 ゆほびかデイサービスセンター（利用人数）定員1日15名

月	人員数	運営日数	1日平均利用
1月	258名	24	10.25
2月	250名	24	10.77
3月	282名	27	10.49

## IV 1.1 次年度の提起

下記平均利用者数の増大を目指し、外部からのご利用者を多く獲得するためにも地域交流や関係機関との連携を密に図り、デイサービスが発展するよう取り組む。又、入浴支援やレクリエーション、外出行事、職員研修等課題となったサービス内容を見直し、ご利用者やご家族の満足度を向上させます。